

令和7年度 第2回川崎市社会教育委員会議麻生市民館専門部会 次第

日時 令和7年8月27日(水)

午後2時00分～

場所 麻生市民館 第1会議室

次 第

1 開会

2 館長挨拶

3 資料確認

4 部会長・副部会長選定

5 議事

- | | |
|----------------------------|-----|
| (1) 令和7年度の主な事業・工事の実施状況について | 資料1 |
| (2) 社会教育振興事業のPDCAについて | 資料2 |
| (3) 市民館だよりについて | 資料3 |
| (4) アンケートについて | 資料4 |
| (5) その他 | |

○ その他資料

- ・ 前回の専門部会会議録(摘録)
- ・ 指定管理予定者の選定結果

次回以降の予定

第3回 令和7年12月4日(木) 午後2時～

第4回 令和8年2月15日(日) 午後1時30分～

(市民自主企画提案会・選考委員会を同日に開催いたします。詳細については別途ご案内いたしますので、この日程でご予定くださいますようお願い申し上げます。)

令和7年8月現在

川崎市社会教育委員会議麻生市民館専門部会委員名簿

委嘱期間 ~令和8年4月30日

	区 分	氏 名	現 職 名
1	1号 (区内に設置された 学校の長)	かねこ みつひろ 金子 三弘	川崎市立麻生中学校校長
2	2号 (区内の社会教育関係団体 等から推薦された者)	よこかわ ひるゆき 横川 博行	麻生区文化協会副会長
3		なごや よういち 名古屋 洋一	麻生区地域教育会議議長
4		ひらで けいこ 平出 圭子	麻生市民館サークル連絡会
5		おかくら すすむ 岡倉 進	麻生区町会連合会常任理事
6	3号 (区内在住の社会教育に関 する経験を有する市民)	はまだ ふみえ 濱田 富美恵	市民委員
7		たざわ あずさ 田澤 梓	市民委員
8	4号 (学識経験者)	つのだ きみえ 角田 季美枝	和光大学現代人間学部非常勤講師
9	5号 (区内の家庭教育の向上に 資する活動を行う者)	まえむら よしあき 前村 嘉昭	麻生区PTA協議会副会長

令和7年度 麻生市民館 社会教育振興事業 実施計画

(令和7年8月14日現在)

領域	事業名	事業内容	事業数 (予算)	実施計画												学習目的・目標等							
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3								
1 社会参加 学習事業	識字学習活動	川崎市多文化共生社会推進指針、外国人教育基本方針、川崎市識字・日本語学習活動の指針に基づき、外国人市民等が日本での生活を円滑に営めるように、日常生活に必要な基礎的日本語を身につけるための学習を支援する。また、学習者と支援者（ボランティア）が共に学び合う関係づくりに配慮し、多文化共生社会の実現をめざす。	千円 2 (455)																				
	識字ボランティア研修	川崎市識字・日本語学習活動の指針に基づき、識字学習活動に関わるボランティア等の資質向上に関する学習機会を提供することにより、多文化共生社会の実現をめざす。	1 (81)														● 6月19日 午前コース	● 12月18日 夜間コース	現在の活動を振り返り、ボランティアの疑問や不安を解消することで、今後の活動の向上に繋げる。				
	障がい者社会参加学習活動	地域での体験活動や交流等の学習機会を提供することを通して、障がいのある人の社会参加促進を図るとともに、ノーマライゼーションの理念に基づき、共に生きる地域社会の実現をめざす。	1 (195)																				
2 市民自治基礎学習事業	普遍的課題学習 平和・人権・男女平等推進学習	憲法、教育基本法の理念に基づき、世界の平和及び人権の尊重、性による差別や人権に関する問題解決に向けた学習機会を提供し、共に生きる地域社会の創造や男女共同参画社会の形成を目指す。	2 (110)																自分らしく生きよう！～生きずらさ・ストレスのない生活を送るために～ 10月18日～12月6日 全7回	・生きずらさを解消するために色々なテーマをもとに、ストレスフリーな生き方や考え方を学び、自分らしく生きていくためのきっかけとする ・子育てでパパにできることは何か、ママの負担が大きくなるように夫婦で協力して子育てを進めるための方法を学ぶ			
	世代別学習活動 青少年教室事業	小学生・中学生・高校生等を対象として、青少年期の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供するとともに、地域の中での仲間づくり、つながりづくりを促進する。	1 (60)																「謎走中！inあさお」5月18日	地域の中学生が職場体験の中で企画したイベントを麻生区の小学生を対象に実施すること。			
	成人教室事業	成人層を対象として、成人期の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供するとともに、地域の中での仲間づくり、つながりづくりを促進する。																					
	シニアの社会参加支援事業	シニア世代等を対象として、地域の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供し、シニア世代等の市民が、これまで社会で培った豊富な経験と知識、多様な能力を活かし、これまで関わりの少なかった地域社会での様々な活動に参加できるように支援する。	1 (60)																	シニア向けeスポーツ入門講座 1月30日～2月27日 全5回	シニア向けのeスポーツに触れ合い、ゲームを通して認知症予防や健康維持ができることを学ぶとともに、生きがいづくりや仲間づくりの機会を提供する。		
	高齢者セミナー	高齢期の課題解決に向けた学習機会を提供する。また、学習を通じた、生きがいづくりや健康づくりを促進するとともに、幸福な高齢期をおくるための支援をする。	1 (60)																	～このままでは変わらない～ 新しい認知症観・社会観を知ろう 6月18日	いつまでも生き生きと楽しく健康で暮らすには 11月5日～11月28日 全4回	・認知症に対する正しい知識を習得し、認知症について考えるきっかけとする。 ・脳とこころから健康づくりについて学ぶとともに、受講者同士で新たなつながりを深める機会を提供する。	
	子育て・共育学習活動 家庭・地域教育学級	子どもを豊かに育む地域社会の創造をめざし、子育てに関する家庭・地域課題の学習機会を提供し、親として市民としての学びを支援する。	1 (123)																		初めてママのHappy！ママライフ 10月1日～12月10日 全10回	子育てについてヒントを得ながら、子育て仲間をつくる。	
	市民館保育活動	親等の学習活動への参加を促進し、乳幼児の社会的成長を支援するために、主催事業に適宜併設する形で保育活動を実施する。	3 (127)																		10月～3月		
保育ボランティア研修	子育てを支援する保育ボランティア等の資質の向上に向けた学習機会を提供することにより、地域で支え合う子育ての環境醸成を図る。	1 (20)																			「保育ボランティア研修」 11月7日～11月26日 全4回	地域の子育てを支援する保育ボランティアとして、安心して子どもと関われるよう知っておきたい知識や心構えを学ぶ。	
P T A 家庭教育学級講師派遣	子どもの理解や親の役割及び家庭環境、家庭教育に関する地域における諸課題等についてP T Aが実施する家庭教育学級に対し、講師派遣等の支援を行うことにより、子どもの健全な育成に向けた、学校・家庭・地域の連携による学習活動の振興を図る。	1 (一)																			6～3月（各小中学校P T Aの計画により実施）		
子育て支援啓発事業	地域における身近な子育て関連情報を保護者等に幅広く提供するために、子育て情報冊子等の作成・配布や、保護者同士の交流を図るための集会等の開催を行う。	1 (48)																				「子育てフリースペースよち・わく・のび」 4月～8月（火、金）	9月～3月（火、金）

領域	事業名	事業内容	事業数 (予算)	実施計画												学習目的・目標等				
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
3 市民学習・市民活動活性化学習事業	市民自主学級	市民と市民館の協働により、地域や社会の課題解決に市民自らが取り組むために必要な学びの場を創り、市民の主体的な学習活動や市民活動を活性化させる。	千円 1 (300)															愉しもう 新しいご隠居スタイル 9月9日～10月24日 全5回 ←→		
	市民自主企画事業	地域や社会の課題解決や地域の特性に応じた生涯学習・文化芸術の振興や、市民の交流・ネットワーク化の活性化等を目的として、集会、講演会等多様な形態の学習事業を市民と市民館が協働で実施する。	2 (160)															高齢者が楽しく暮らすために 9月2日～9月19日 全3回 ←→ おしゃべりな図書館 本と出会う、人と出会う 9月20日～11月15日 全5回 ←→		
	市民エンパワーメント事業	市民エンパワーメント研修	市民活動・ボランティアに関する学習機会を提供することにより、市民自らが考えながら生活・地域課題等に取り組むことができるように、市民主体の地域づくりを支援する。	1 (60)															ボードゲームファシリテーター養成講座 10月3日～10月24日 全3回 ←→	「ボードゲーム」を用い、自身も楽しみながら行うことで持続可能な交流事業の提案を行い、地域の活性化のきっかけが作れるようにする。
		市民講師活用事業	様々な分野において豊富な経験や資格、技術等を持っている市民が、地域の生涯学習における身近な学習支援者「市民講師」として活躍できるよう育成・支援を行う。	1 (46)															韓国語を楽しく学びませんか 10月4日～11月15日 全4回 ←→	市民が保有する貴重な知識や経験を、地域に「教えたい・広めたい」と考えている方を市民講師として、地域で活躍できる機会を提供する。
		PTA活動研修	子どもの健やかな成長を支えるPTA活動のあり方等についての学習機会を提供することにより、各学区や麻生区の特徴を生かしたPTA活動の活性化を図る。	1 (30)															4月19日～6月3日 全5回 ←→	家庭教育学級報告会 ↔
		生涯学習交流集会	いきいきとした麻生区の社会教育の展開に向けた、市民と職員による率直な意見交換を通して、市民が主体的に学ぶ地域の生涯学習環境の醸成を図る。	1 (50)																3月8日 ●
		地域の寺子屋事業に関する研修等（情報交換会等）	「地域の寺子屋事業に参画し、開設、運営等をコーディネートする市民の育成及び支援を目的とする研修等を実施する。	1 (-)																「寺子屋ブラッシュアップ研修 & 情報交換会」10月22日 ●
	表現・舞台活動支援事業	様々な手法による市民の主体的で自由な表現活動を振興し、地域に根差した市民の文化創造に資する。	- (-)																	
学習情報提供・学習相談事業	市民の主体的な学習活動・市民活動の支援策の一環として、様々な学習情報・市民活動情報を収集・整理し、適切な形で公開・提供する。また、求めに応じ、市民及び市民グループなどの生涯学習に関する相談に対し、情報提供、助言を行う。	1 (53)																←→	通年（8月を除く）	
4 市民・行政協働事業・ネット	行政区・中学校区地域教育会議推進事業	行政区・中学校区における学校・家庭・地域の連携による教育への市民参加システムづくりとネットワークづくりを支援・促進し、地域の教育力の向上をめざす。	1 (-)															←→	麻生区地域教育会議 通年 教育を語るつどい、青空こども会議等	
	課題別連携事業	地域での子育てや福祉・環境・まちづくりなどの課題解決に協働して取り組むため、関係機関との連携による会議及び必要な事業を実施する。	1 (-)															●	防災スマホ講座 6月3日 子育てフェスタ 3月20日 ●	
	地域学習・文化団体連携推進事業	地域の学習活動を推進している学習・文化団体（サークル連絡会・文化協会・PTA等）とのネットワーク化や事業連携の推進を通じ、市民の主体的な学習活動の活性化、地域の文化や教育力の向上をめざす。	3 (-)															←→	麻生市民館サークル連絡会 通年 麻生区PTA協議会 通年 麻生区文化協会 通年 あさおサークル祭 6月7日～8日	
5 現代的課題対応学習事業	地域コミュニティ交流・学習事業	地域コミュニティの課題解決あるいは地域コミュニティの活動及び交流に係わる学習機会を提供し、市民自らが地域の課題解決や活動及び交流に参加していけるよう支援する。	1 (-)															●	「ひとのわ」フェス 7月19日 「ひとのわ」プロジェクト 通年	市民が安心して地域活動を始められるような居場所支援事業
	現代的課題学習事業	現代的、今日的な課題に係わる学習機会を提供し、今を生きる市民の学習を支援する。	1 (45)															←→	人生100年時代を見据えたライフプランを考える 6月15日～7月11日 全3回（世代別） 「人間関係とわたしのトリセツ」 7月20日～8月3日、全3回	・人生の節目やイベントを具体的に想定し、これからのライフプランを考えるきっかけを提供する。 ・心理学に触れることによって価値観の違い、人と付き合うときに重要視する部分も違うことを学び、人間関係を築ききっかけづくりをする。

領域	事業名	事業内容	事業数(予算)	実施計画												学習目的・目標等		
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
6 市民館 学習環境 整備	社会教育委員会 麻生市民館専門部会	川崎市社会教育委員会規則に基づいて行う。	1 (-)			第1回 5月21日		第2回 8月27日				第3回 12月4日		第4回 2月16日				
	刊行・広報活動	(1) 教文・市民館活動報告書、学習記録や調査研究報告書の作成を行い、学習活動や地域情報の蓄積と公開を図る。 (2) 生涯学習に関する情報を提供するため、市民館だより、ホームページなどの作成を行う。	1 (594)			市民館だより ホームページ		年6回(6月・8月・10月・12月・2月・4月) 通年										R7の活動報告書のとりまとめ館は幸市民館
	情報機器等整備	総合教育センター視聴覚センターの市民への直接的な窓口として、教文・市民館で情報機器等の貸し出しを行う。	1 (-)								通年							

■生涯学習支援課の事業

事業名	事業内容	事業数(予算)	実施計画												事業実施状況				
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
麻生区生涯学習推進会議	川崎市生涯学習推進計画および麻生区生涯学習推進計画に基づき、麻生区生涯学習推進会議を設置し、区における生涯学習推進体制の整備や生涯学習事業の連絡調整を行い、麻生区の生涯学習を推進する。	千円 1 (-)																	
課学 習 対 事 業 企 画 委 員	里地・里山保全 推進事業	1 (844)																	2026里山フォーラム in麻生 3月7日 ●
	麻生市民館 多文化共生推進事業	1 (-)																	外国人市民との「防災訓練」を検討 ● 日本の太巻きを作ってみよう イベント6月14日 ● 「世界と遊ぼう」12月 ●

令和7年度 麻生市民館 工事等の実施計画

(令和7年8月14日現在)

工事名	内容	予算(千円)	実施計画												備考				
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
麻生市民館受水槽更新工事	受水槽 更新工事																		1/19~25貸館を停止して工事を実施する

令和7年度 麻生市民館補修工事実施予定

実施名	内容	実績(千円)	実施状況
第2、3会議室 床張り替え	剥がれかけている床材の貼り替え	業者選 定中	2025年中
和室換気扇補修	相談室天井裏に設置されている和室換気扇の更新	見積依 頼中	2025年中
2階外部タイル割れ・浮きの補修	タイルの貼り替え	見積依 頼中	2025年中
天窓ドームひび割れ	更新	業者選 定中	2025年中
空調ヘッダーバルブ補修	破損しているバルブの更新	見積依 頼中	未定

令和7年度 麻生市民館岡上分館 社会教育振興事業実施報告・計画

(令和7年8月19日現在)

(予算：千円)

領域	事業名		事業内容	事業数 (予算)	実施計画												学習目的・目標等		
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
2 市民自治基礎学習事業	世代別学習活動	シニアの社会参加支援事業 (入門コース)	シニア世代等を対象として、地域の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供し、シニア世代等の市民が、これまで社会で培った豊富な経験と知識、多様な能力を活かし、これまで関わりの少なかった地域社会での様々な活動に参加できるように支援する。	1 (77)														「絵本の読み聞かせボランティア講座」 (全6～8回、検討中) 1～3月	読み聞かせボランティア活動について基礎的な知識・技術を学び実際の活動を体験することにより、同活動への理解と関心を高めるとともに講座を通じて仲間づくりを推進し、修了後に同活動を通じた社会参加、多世代交流やより一層の仲間づくりを推進する。
	子育て・共育学習活動	家庭・地域教育学級	子どもを豊かに育む地域社会の創造を目指し、子育てに関する家庭・地域課題の学習機会を提供し、親として市民としての学びを支援する。	1 (108)														「思春期と向き合う保護者のためのガイド2」 (全6回) 9/7～11/30	思春期の子どもを理解し、世代ギャップを埋め、お互いに尊重し合う家族になること。子どもの自立を応援するために親ができることは何かを学ぶ。 対象：小学校高学年～高校生までの保護者
3 市民学習・市民活動活性化学習事業	市民自主企画事業		地域や社会の課題解決や地域の特性に応じた生涯学習・文化芸術の振興や、市民活動のネットワーク化の活性化等を目的として、集会、講演会等多様な形態の学習事業を市民と市民館が協働で実施する。	0 (0)															
	市民自主学級		市民と市民館の協働により、地域や社会の課題解決に市民自らが取り組むために必要な学びの場を創り、市民の主体的な学習活動や市民活動を活性化する。	1 (75)														「民話と巡る岡上古道」	子どもから大人まで幅広い世代でも理解できる「民話」を通じて、麻生区の飛び地「岡上」の歴史的・文化的理解を深め、「集い」「学び」「楽しむ」ことにより、持続可能な文化継承を目指すもの。
	市民エンパワメント研修	市民エンパワメント研修	市民活動・ボランティア活動に関する学習機会を提供することにより、市民自らが考えながら生活・地域課題等に取り組みことができるように、市民主体の地域づくりを支援する。	1 (77)														「キミのチカラを生かしてみないか！」 全5回 7/5～7/26	何かをやってみたいけどまだ一歩を踏み出せていない若者たちが、岡上分館で開催される事業と関わり、様々な活動を行うことで、本当に自分がやりたいことを見つけて行動につなげることを目指すもの。
		生涯学習交流集会	いきいきとした岡上分館を拠点とした社会教育の展開に向けた、意見交換や成果発表などの交流を通して、市民が主体的に学ぶ地域の生涯学習環境の醸成を図る。	1 (16)														3/8 ●	市民自主学級・市民自主企画事業の各グループの一年間の活動の成果を発表し、他グループの活動を知り、有識者からのアドバイスをもらうことで、今後の活動に活かす。また、活動グループの相互理解を深め、市民が主体的に学ぶ地域の生涯学習の醸成を図る。
	学習情報提供・学習相談事業		市民の主体的な学習活動・市民活動の支援策の一環として、様々な学習情報・市民活動情報を収集・整理し、適切な形で公開・提供する。また、求めに応じ、市民及び市民グループなどの生涯学習に関する相談に対し、情報提供、助言を行う。	1 (1)														通年	
ワ協4 働 ク・市 学ネ民 習ッ・ 事ト行 業 政	麻生区地域課題対応事業		生涯学習振興の視点から地域課題に対応した区役所費による事業の実施を行う。	1 (325)													<夏休み子どもサマーカレッジ> (全2回) 「鶴見川の生物&地下の冒険」7/25 「動くスライム理科実験&大学キャンパス探検」7/29	河川における治水の仕組みや鶴見川流域を利用した体験学習を行う。 対象：区内在住・在学の小学3～6年生と保護者	

5 現代的課題対応学習事業	地域コミュニティ交流・学習事業	地域コミュニティの課題解決あるいは地域コミュニティの活動及び交流に係わる学習機会を提供し、市民自らが地域の課題解決や活動及び交流に参加していけるよう支援する。	2						1:「図書室ひろば」 通年随時							1:図書室を活用して地域のために何か始めたいきっかけづくりや参加者との交流促進のために実施する。 2:自らの健康だけでなく、他者の心身の健康にも気遣いながら過ごすことで、地域全体のウェルビーイング向上にもつなげる。
	現代的課題学習事業	現代的、今日的な課題に係わる学習機会を提供し、今を生きる市民の学習を支援する	1 (47)						「リアルな体験から学ぶ」 7/12~7/19 (全2回)	親子防災講座!						避難所に見立てた夜の岡上分館で、実際に被災した状況を想定した避難の体験をすることで、いざという時に必要なことを知り、行動につなげられるようにする。

令和7年度 麻生市民館岡上分館 管理等に関する実施報告・計画

(令和7年8月19日現在)

◆工事・維持管理に関する実施事項

実施名	内 容	実績 (千円)	実施状況
館内照明のLED	館内照明のLED化	他局予算	2025年中
植栽管理業務	分館敷地内の樹木の剪定及び除草	440	年3回 実施
【印刷室】空調機設置工事	空調機設置	460	実施済
【印刷室】畳表交換	劣化した畳表を交換	84	実施済
【談話室奥】改修工事	談話室奥のスペース有効活用のため、床をフローリング化にする等の改修工事を行う	538	9月実施予定
【体育室】カーテン交換	劣化したカーテンの交換	90	実施済
卓球台調達	劣化した卓球台の1台を廃棄し、新たに調達する	176	実施済

◆その他改善事項

実施内容	実績 (千円)	実施状況
隣地境界部への壁の造作	2544	実施済
敷地周囲フェンス及び2階体育室前手すりの塗装	628	検討中
掲揚ポールのロープ等の交換	75	実施済

令和7年度識字学習活動 担当者会議 調査票

昼クラス

令和6年度実施結果		担当者名	齊藤
館名	麻生市民館		
日 程	5月9日(木)～3月13日(木)＜全34回＞		
参加者数(学習者)	73人(登録者数)		
保育人数(学習者の子ども)	無		
ボランティアGp名・人数	麻生日本語ボランティアの会・24人		
工夫や苦労した点			
<p>・4クラスで運営しているが、年度途中でボランティアの退会があり運営に支障が発生したが、ボランティアの会と調整し、他のクラスからの応援体制により運営することができた。</p>			
評価・反省			
<p>・保育希望者について、保険加入が出来ず同室参加で対応しているが、泣き声等により参加継続を辞退したケースがあった。</p>			
課 題			
<p>・日本語を全く話せない学習者の申し込みが年間を通してあるが、加入のたびに個別対応等をする必要があり、1つのクラス内で分けての学習となる状況がある。</p> <p>・保育の相談があるが、人数が集まらず保険加入ができないため、同室での学習で対応している。</p>			

令和7年度実施計画		担当者名	齊藤
館名	麻生市民館		
日 程	5月8日(木)～3月12日(木)＜全33回＞		
参加者数(学習者)	41人(登録者数)		
保育人数(学習者の子ども)	無		
ボランティアGp名・人数	麻生日本語ボランティアの会・19人		
工夫や苦労した点			
<p>4つのグループに分け運営しているが、日本語が全く話せない学習者の加入が増えているため、グループ間のボランティア配分を多くしている。また、必要に応じてタブレットの翻訳ソフトを活用している。</p>			
評価・反省 ※前年度と異なる状況があれば教えてください(参加者人数の増減・保育の見直し等)			
<p>※前年度と異なる状況があれば教えてください(参加者人数の増減・保育の見直し等)</p>			
課題、担当者会議で取り上げてほしい事柄・問題点			
<p>保育相談が寄せられているが、市民館での申し込み人数に満たないため、同室保育として学習者が子どもの面倒をみている。保育の受け入れは傷害保険加入が条件であるが、個人の保険加入で受け入れた館があるか。また、個人加入の保険の場合、保険範囲として金額はいくら以上等の案内をすべきか確認したい。</p>			

* ボランティアグループ名についてはグループ化されている場合のみ、記入をお願いします。

令和7年度識字学習活動 担当者会議 調査票

夜クラス

令和6年度実施結果		担当者名	石田
館名	麻生市民館		
日 程	5月9日(木)～3月13日(木)＜全34回＞		
参加者数(学習者)	54人(登録者数)		
保育人数(学習者の子ども)	無		
ボランティアGp名・人数	12人		
工夫や苦勞した点			
<ul style="list-style-type: none"> 日本語を話したいという学習者が多かったため、なるべく学習者自身に話してもらう時間を多く設けた。 今まで司会を毎回同じ人にやってもらっていたが、負担を減らすため、持ち回り制にした。 事前申込みがなく参加される学習者の対応に苦勞した。 			
評価・反省			
<ul style="list-style-type: none"> 例年より学習者も増え、新規ボランティアも4名増えた。 知り合いや家族を連れてくる学習者が多く、特に中国の大学生が毎回新しい人を連れてきた。 学習者の希望により、開始時間を15分遅らせて実施したが、参加しやすくなったという意見をたくさんもらった。 			
課 題			
入門研修を実施したが、定員の倍以上の申込みがあり、ボランティアが待ちの状況になっている。			

令和7年度実施計画		担当者名	石田
館名	麻生市民館		
日 程	5月8日(木)～3月12日(木)＜全33回＞		
参加者数(学習者)	20人(登録者数)		
保育人数(学習者の子ども)	無		
ボランティアGp名・人数	12人		
工夫や苦勞した点			
新しく入ったボランティアが今の運営方法に不満を持ったり、先輩ボランティアに物申す等、新規ボランティアと既存ボランティアの関係性を築くのに苦勞した。定期的ミーティングを実施し、意見交換を行い、徐々に改善をしている。			
評価・反省 ※前年度と異なる状況があれば教えてください(参加者人数の増減・保育の見直し等)			
東南アジア出身で就職活動中の学習者や中国の学生が知り合いを連れて参加することが多く、若い世代の参加が増えている。友達作りを目的に参加されている学習者が数名おり、学習者同士楽しそうに交流している様子をよく見かけるようになった。			
課題、担当者会議で取り上げてほしい事柄・問題点			
特になし			

* ボランティアグループ名についてはグループ化されている場合のみ、記入をお願いします。

「障害者社会参加学習活動」 担当者会議 調査票

館名	麻生
会議出席者	
担当者名	石田

令和6年度実施結果	
事業名(テーマ)	麻生青年教室
実施期間	令和6年5月19日 ~ 令和7年3月16日
曜日	第3日 曜日
実施回数	10回
対象者	市内在住の知的障害のある方
参加者数	20人
ボランティア数	20人
工夫・苦勞した点	
<ul style="list-style-type: none"> ・新規ボランティア獲得のため、ボランティア研修を実施し、計6名のボランティアを受け入れた。また、学校の必修の校外活動のために高校生5名が協力してくれたため、人手不足はかなり解消された。 ・今まで職員が企画していたが、ボランティアの主体性を持たせるために、各回担当スタッフを決め、ボランティアに企画運営してもらうようにした。 	
評価・反省	
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者から外に出たいという意見をたくさんもらったため、野外活動を積極的に取り入れたが、特に大きな問題もなく全10回実施できた。 	
次年度に向けての課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関を利用して、少し遠方の場所に行きたいが、人数管理や電車の乗り継ぎが不安 	

令和7年度年度事業計画		担当者名	
事業名(テーマ)			
実施期間	~		
曜日	曜日		
実施回数			
対象者			
応募数 / 定員			
参加者居住区の内訳			
ボランティア数			
①主な内容			
②担当者会議で取り上げてほしい事柄・問題点			
③ボランティア研修で取り上げて欲しいテーマ			

令和7年度 家庭・地域教育学級 担当者会議 調査票①
 令和6年度実施結果

館名 麻生市民館

出席者

令和6年度 実施結果		担当者名	石田
事業名	初めてママのHAPPY!ママライフ		
目的(テーマ)	子育て中の保護者が様々な学習を通して、子育てをする上でのヒントを得られるようにする。またその学習活動を通して、保護者同士の仲間づくりができるよう配慮し、これからの楽しい子育てを支援する。		
回数	全10回		
対象	第1子(令和6年2月1日～令和6年8月1日生まれの乳児)とその保護者		
定員	10組		
申込者数	10組		
学習内容	1, 良い母親ってどんな人?ひとりで悩まないために 2, 親子でピラティスを体験し、子どもと触れ合おう 3, 絵本や手遊びなどの遊び方、保育園について知ろう 4, 子どもの成長について知り、身の回りで起こりやすい事故に備えよう 5, スマホで我が子をとびきり可愛く撮ろう 6, 手形・足形を使って子どもの成長を残そう 7, 初めての離乳食!子どもと親の食事について知ろう 8, 歯の健康 虫歯にならないための方法を学ぼう 9, 子育てに必要な費用について知ろう 10, ハッピーママの輪をひろげよう		
工夫した点・課題等	参加者同士の仲を深めるために全10回で開催した。同室保育を実施したことでお子さんを預ける間に余裕が生まれ、参加者同士で話す時間が増えた。知識を得る、たくさん考える講座だけでは疲れるので、リフレッシュになるような単純に楽しめる講座を組み込むように留意した。		
担当者会議で取り上げてほしい事項			

令和7年度 家庭・地域教育学級 担当者会議 調査票②
令和7年度事業実施予定

館 名 麻生市民館

出席者

令和7年度 実施予定事業		担当者名	石田
事業名	はじめてママのHAPPY! ママライフ		
目的(テーマ)	子育てについてヒントを得ながら、子育て仲間をつくる		
回数	10回		
対象	第1子(令和6年12月1日～令和7年8月1日生まれの乳児)とその保護者		
定員	10組		
申込者数			
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ①オリエンテーション ②親子でピラティスの方法 ③絵本や手遊びについて・保育園の基礎知識 ④適切なだっこの仕方 ⑤ケガや病気に備える ⑥スマホ写真の撮り方・思い出作り ⑦手形・足形アート・成長記録を残す ⑧必要な栄養素や離乳食進め方 ⑨指人形の作り方・遊び方 ⑩振り返り 		
工夫した点・課題等	対象の範囲が狭く、参加したくても参加できない人がいるのではという意見があったため、保育ボランティアとも相談し、昨年度より月齢を2か月延ばした。参加者同士の交流を深めるために、講義形式は少なめにして、ワークや実習を多く取り入れた。		
担当者会議で取り上げてほしい事項			

令和7年度 保育関係事業担当者会議 調査票②
令和7年度実施予定

館 名 麻生市民館

出席者 作本

保育担当 作本

4【令和7年度】保育付き講座について

(1) 実施予定事業

事業名	時期・期間	回数	対象年齢/形態	保育人数	1回あたり保育者数
はじめてママのHAPPY! ママライフ	10月～12月	10	2ヵ月～8ヵ月 <input checked="" type="checkbox"/> 同室 <input type="checkbox"/> 別室	10人	2人
日本語クラス(昼間)	5月～3月	33	3ヵ月～未就学 <input type="checkbox"/> 同室 <input checked="" type="checkbox"/> 別室	未	2人
子育て支援啓発事業 子育て交流ひろば 「よちわくのび」	5月～3月	19	0～2才 <input checked="" type="checkbox"/> 同室 <input type="checkbox"/> 別室	10人	2人

(2) 保育に関する課題や懸念事項

5【令和7年度】保育ボランティア研修について(あてはまるものにチェックしてください)

(1) 実施する予定 実施しない予定

(2) 実施する場合の形態について

保育ボランティア研修で実施 市民エンパワーメント研修で実施

ボランティア団体主催で実施

事業名(テーマ)	期間	回数	定員	実習の有無	既存ボランティアの参加	内容(入門、ブラッシュアップ等)
保育ボランティア養成講座	未定	4	20	有	有	入門

(3) 工夫したいこと、気をつけたいことなど

ボランティア活動の楽しさややりがいを理解してもらえる研修としたい。

6 担当者会議で取り上げてほしい事項

保育ボランティアの担い手不足対策

令和7年度「青少年教室事業」担当者会議調査票

		館名	麻生市民館
		会議出席者	
令和6年度実施結果		担当者名	石田
事業名(テーマ)	地域サークルと交流しよう		
期 間	7月3日、4日		
時間帯	10時～15時		
回 数	4回		
対象者・参加者数	中学生・4名		
企画委員会の有無	無		
工夫や苦勞した点			
<ul style="list-style-type: none"> ・サークル連絡会に所属しているサークルと中学生が交流する機会を設け、多世代交流を図るとともに、麻生区ではどんなサークルが活動しているのか知ってもらう機会とした。 ・なるべく学校で体験することができないサークルを選定し、依頼した。 			
評価・反省			
<ul style="list-style-type: none"> ・サークル連絡会からは、「中学生と交流する機会がほとんどないため、非常に良い機会をもらった」、中学生からは「今まで経験したことのないものばかりで、勉強になった、楽しかった」と好評だった。 ・1サークル2時間設けたが、もう少し短くてもよかったと感じた。次は各回の時間を短くしてサークルを増やしてみる。 			
課 題			
<p>参加した中学生全員が、これまで市民館を利用したことがなかった。小学生や中学生、若い世代が市民館に足を運ぶための取組みの必要性を感じた。</p>			

令和7年度事業計画		担当者名	
事業名(テーマ)			
期 間			
時間帯			
回 数			
対象者			
企画委員会の有無	有 無		
	開催期間: 月～ 月		
	委員: 人		
取り組むテーマ			
学習内容			
課題			

令和7年度「シニアの社会参加支援事業」担当者会議調査票

	館名	麻生市民館
	会議出席者	
令和6年度実施結果	担当者名	照井
事業名(テーマ)	キャリアモデルカフェ ～仕事・人生を語り合う多様な経験が集う場所～	
期 間	令和7年1月11日(土)～2月16日(日)	
時間帯	概ね9:30～12:00	
回 数	4回(+公開講座1回)	
対象者・参加者数	12人(延べ38人+公開講座14人)	
企画委員会の有無	無	
	開催期間: 月～ 月	
	委員: 人	
工夫や苦労した点		
<p>若者世代のキャリア感を知りたかったので公開講座として「若者と共に考えるこれからのキャリア」と題したトークセッションを行ったが、若者世代の参加が無かった。SNSや、広報にも工夫をしたが、若者世代に届くような情報発信が出来ていないと感じた。</p> <p>公開講座は、スタッフでも参加出来ない人が多いことを見越して、また様々な人に講座の内容を知って欲しかったため、Youtubeでの公開を前提として登壇者との調整も行った。動画編集に不慣れなため、編集無しで流すこととしたが、動画を見慣れない人には長かったかもしれない。</p>		
評価・反省		
<p>シニア世代も含め、キャリア感に変化が生じている社会だと感じ、昨年度から引き続きキャリアをテーマにして、講座中心ではなく、語り合いが出来る場の創出を目指して、スタッフの募集を行ったが、40～50代女性の参加が多かったことが印象的だった。</p> <p>語り合いの場(カフェ)は、運営する人たちの雰囲気重要だが、良いメンバーが集まり、研修中の雰囲気も良かった。ただ、研修のスタートが遅くなってしまったため、実際のカフェの開催が年度中に行えず、スタッフ間の自立までを見越すとあと数か月ほど時間が必要だったと感じる。</p>		
課 題		
<p>継続的な市民同士の学び合いの場をつくることと、スタッフ主体による自立を目指していたが、スタッフとイメージを共有するのが難しかった。特にこちらからイメージを伝えていくと、市民館主導になってしまうので、「自由に、楽しく」と伝えてきたが、逆に分かりにくいといった声もあった。</p> <p>また、コミュニティ全体として捉えると、一定人数、和を乱す人も出てくるため、どのような対応をするのが良いか、ルールなどを考えて置くべきなのか、といった点が課題だと感じた。</p>		

令和7年度事業計画	担当者名	石田
事業名(テーマ)	シニア向けeスポーツ入門講座	
期 間	令和8年1月～2月	
時間帯	10時～12時	
回 数	5回	
対象者	概ね50歳以上で関心のある方	
企画委員会の有無	無	
取り組むテーマ		
eスポーツに触れ合い、ゲームを通して認知症予防や健康維持ができることを学ぶとともに、生きがいづくりや仲間づくり、雇用創出の機会を提供する		
学習内容		
eスポーツの概要、体験、施設見学等		
課題		
現時点ではなし		

令和7年度「高齢者セミナー」担当者会議調査票

		館名	麻生市民館
		会議出席者	
令和6年度実施結果		担当者名	田中
事業名(テーマ)	これからの人生を豊かに過ごすには		
期 間	令和7年1月31日(金)～2月28日(金)		
時間帯	14:00～16:00		
回 数	全4回		
対象者・参加者数	30名(延べ参加人数67名)		
企画委員会の有無	無		
	開催期間: 月～ 月		
	委員: 人		
工夫や苦勞した点			
<p>高齢期の人生を豊かに過ごすために、「知り合い以上友人未満のゆるやかな人間関係が生まれる場」をみんなで考える講座としたが、募集のチラシだけでは、講座全体の目的やイメージを充分受講者に伝えることができなかった。(講座の内容についての問い合わせが多かった) 本講座の目指すところは、講座が終了すると、受講者は「講師からいい話が聞けて良かった。ありがとう」で三々五々帰られる。せっかく同じ講座を受講し知り合いになったのだから、このつながりを大切に継続して仲間づくりにつなげることである。結果的に講座最終会に、グループをつくり次の活動につなげることができた。</p>			
評価・反省			
<p>当初の計画は、全3回で考えていたが、講師と今回の講座の目的や背景を共有し、講座内容を調整した結果、1回増やすことにした。最後の講座で、毎回受講者からとったアンケートを紹介し、今後やりたいことのラベルワークをおこなったことが、つながりづくりと次の活動へとつながったのではないかと考えている。</p>			
課 題			
<p>高齢者の中には、アクティブ志向の方からパッシブ志向の方まで多様であり、講座に期待するものは同じでも、受講した結果の満足度には差が生じてしまう。期待通りではなかった人に対するフォローが必要ではないかと思う。</p>			

令和7年度事業計画		担当者名	田中
事業名(テーマ)	新しい認知症観、社会観を知ろう!		
期 間	6月18日(水)		
時間帯	14:00～16:00		
回 数	1回		
対象者	概ね65歳以上で認知症に関心のある方		
企画委員会の有無	—有— 無		
	開催期間: 月～ 月		
	委員: 人		
取り組むテーマ			
<p>「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行され1年半、認知症に関する社会観が大きく変化してきている。本講座は、認知症に対する正しい知識を習得するとともに、共生社会の実現のために必要な認知症の人についての正しい理解を深め、決して他人事でない認知症への向き合い方について考えたい。</p>			
学習内容			
<p>認知症を他人事ではなく自分事としてとらえ、今後増える認知症の人との共生社会を実現するために、自身のこれからの人生への向き合い方について考える。</p>			
課題			
<p>認知症についての理解を深め、自分でできる範囲で、地域で認知症の人に対して力になれるかが課題。</p>			

令和7年度事業計画		担当者名	田中
事業名(テーマ)	いつまでも生き生き楽しく健康で暮らすために		
期 間	11月～12月		
時間帯	14:00～16:00		
回 数	3～4回		
対象者	概ね65歳以上で健康維持に関心のある方 20名程度		
企画委員会の有無	—有— 無		
	開催期間: 月～ 月		
	委員: 人		
取り組むテーマ			
人生100年時代をいつまでも健康で過ごすために、脳と体と食生活の視点で学び体験することにより、日々の生活に変化を実感し楽しみと生きがいにつながる機会を提供する。			
学習内容			
脳を活性化するトレーニングと無理のないストレッチ運動で心と体をリフレッシュするプログラム、および健康で過ごし続けるために、食の観点からフレイル予防について学ぶプログラムを主に学習内容を検討する。			
課題			
特になし			

令和7年度「平和・人権・男女平等推進学習」事業調査票

		館名	麻生市民館
		会議出席者	石田
令和6年度実施結果（平和・人権・男女平等推進学習）		担当者名	石田
事業名(テーマ)	スポーツが持つ力の可能性 スポーツ×平和×人権		
期 間	令和7年2月8日(土)～3月8日(土)		
時間帯	14時～16時		
回 数	全5回		
対象者・参加者数	関心のある方・13人		
企画委員会の有無	無		
保育の有無	無		
工夫や苦勞した点			
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツと平和・人権の関係性についてより理解を深めるために、世界(主に発展途上国)でスポーツを通じた国際交流を行っている団体や企業に来てもらい、動画を交えながら活動の紹介をしてもらった。 ・色々な団体に声をかけたため、講師調整に苦勞した。 			
評価・反省			
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツについて関心がある参加者が多く、講座中は意見や質問が飛び交い盛り上がった。また、20代～80代と幅広い年代の方々が参加され、色々な意見が出て面白かった。 ・講義形式の回が多く、つながりづくりを意識した内容にはならなかった。 			
課 題			

令和7年度事業計画		担当者名	石田
事業名(テーマ)	楽に生きる！～生きづらさ・ストレスのない生活を送るために～		
期 間	10月18日(土)～12月7日(土)		
時間帯	14時～16時		
回 数	7回		
対象者・定員	関心のある方・15人程度		
企画委員会の有無	無		
保育の有無	無		
取り組むテーマ			
<p>情報社会の中、無理やり価値観を押し付けられ、生きづらさやストレスを感じている人が多いと考えられる。他人の考えや意見に惑わされることなく自分らしく生きていくために、ストレスフリーな生き方や考え方を学び、自分の中の生きづらさを解消する</p>			
学習内容			
<p>①『幸福学』から考える幸せ、②自己肯定感の上げ方、③無理のない人との付き合い方、④夢ややりたいことへの向き合い方、⑤書く瞑想「ジャーナリング」の効果的な方法、⑥ルーティンを作る、⑦楽になる考え方</p>			
課題			
現状、特になし			

令和7年度「平和・人権・男女平等推進学習」事業調査票

		館名	麻生市民館
		会議出席者	
令和6年度実施結果（平和・人権・男女平等推進学習）		担当者名	齊藤
事業名(テーマ)	保護者が学ぶ子どもの権利と家庭でできる性教育		
期 間	令和6年10月5日(土)～11月8日(金)		
時間帯	14時～16時		
回 数	全5回		
対象者・参加者数	小中学生の子をもつ保護者及び関心のある方 6人		
企画委員会の有無	無		
	開催期間: 月～ 月、回数: 回		
保育の有無	委員: 人		
	無		
工夫や苦勞した点			
評価・反省			
<p>昨年度と同様に父親も参加しやすいよう主に土曜日の開催としたが、実際の参加者は母親のみだった。また、申込者は10人いたが、学校行事や体調不良などで欠席された方もいたので、開催時期や時間を検討する必要がある。</p>			
課 題			
<p>参加者数が少なかったことは、連続して講座に参加できないことが申し込みを躊躇させている原因とも考えられる。土日の開催では、学校行事や家庭での予定のため参加できないという方もいた。連続講座が原則ではあるが、平日と土日の開催や土日開催を公開講座にするなど、父親も参加しやすい開催について検討する必要がある。</p>			

令和7年度事業計画		担当者名	
事業名(テーマ)			
期 間	月 日() ～ 月 日()		
時間帯	時～ 時		
回 数	5回		
対象者・定員	人		
企画委員会の有無	有 無		
	開催期間: 月～ 月 回数: 回程度を予定		
保育の有無	募集人数: 人		
	有 無		
取り組むテーマ			
未定			
学習内容			
課題			

令和7年度「市民エンパワーメント研修」担当者会議調査票

	館名	麻生市民館
	会議出席者	田中
令和6年度実施結果	担当者名	石田
事業名(テーマ)	障害者ボランティア養成講座	
期間	6月～7月	
時間帯	主に14時～16時	
回数	4回	
対象者・参加者数	毎月第3日曜日に活動できる方・6名	
企画委員会の有無	無	
保育の有無	無	
工夫や苦勞した点		
<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代を集めるために、特にこれから公務員を目指す学生に参加してもらいたく、大学に広報して募った。 ・講座受講後、活動に参加しやすい環境・雰囲気を作りたく、講座内で現役ボランティアと交流する時間をなるべく多く取り入れ、参加者の不安を解消できるよう努めた。 		
評価・反省		
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者全員がボランティア未経験者だったため、初回にボランティアの概念について取り入れたのはよかった。 ・参加者同士の交流を深めるために、グループワークを多く取り入れたが、実際の活動でも仲良くしている様子が見受けられた。 		
課題		

令和7年度事業計画	担当者名	松本
事業名(テーマ)	ボードゲームファシリテーター養成講座	
期間	10月	
時間帯	午前10時～12時	
回数	全3回	
対象者	関心のある方 約20名	
企画委員会の有無	無	
	開催期間: 月～月	
	委員: 人	
保育の有無	無	
取り組むテーマ		
地域で交流事業を企画運営できる人材を育成する		
学習内容		
<p>世代間交流コミュニティづくりのツールの一つとして、「ボードゲーム」を用いたファシリテーション力を養成する講座を実施する。連続3回の講座で、様々なボードゲームを実際に体験しながら、ボードゲームが持つコミュニケーションツールとしての効果や楽しさを学ぶ。また、受講生が模擬的な交流の場を設定し、各自ファシリテーター役として場を運営してみる。</p>		
課題		

令和7年度「市民講師活用事業」担当者会議調査票

		館 名	麻生市民館
		会議出席者	田中
		担当者名	田中
令和6年度実施結果			
事業名(テーマ)	10代～50代の方のための俳句入門基礎講座		
期 間	11月～3月		
時間帯	10時～12時(毎月第3日曜日午前)		
回 数	全5回		
対象者・参加者数	10代～50代で俳句に関心のある方・40名		
企画委員会の有無	無		
	開催期間: 月～ 月		
	委員: 人		
工夫や苦勞した点			
<p>「俳句を若い世代に教えたい」との俳句結社「多摩青門」からの要望を受け、10代～50代の現役世代40名が受講できるよう、日曜日の午前中で講座を設定したが、受講申込者は、40代3名、50代7名、60代以上26名の計36名となった。チラシ公開後、問合せ(70代はダメなのか、なぜ50代までなのか等々)が多数寄せられ対応に苦勞した。結果、年代は問わず受付。年齢制限は安易に設けるべきではないことを痛感した。工夫した点は、テキスト配付を毎回おこない、一度にすべてのテキストを渡さないようにした。連続講座の場合、途中から来なくなる受講者がいるため、全5回すべてに参加させるよう工夫した。結果、ほぼ毎回出席してもらうことができた。</p>			
評価・反省			
<p>入門コースとしたが、全くの初心者からある程度俳句を習った経験者までいて、個々人のレベル差を感じた。どのレベルに焦点をあてた講義にしようかを途中で講師との調整すべきであった。俳句は、テレビでも定期放送されるなど最近人気が高まっており、若い世代でも俳句への関心が高いものと思っていたが、地域性や市民館講座へ関心を持っている市民の年代層を考慮すべきであった。また、広報の仕方についても、他の講座チラシの配架とは違ったやり方など一工夫必要であった。</p>			
課 題			

令和7年度事業計画		担当者名	田中
事業名(テーマ)	韓国の方に学ぶ講座		
期 間	10月～11月		
時間帯	13時～15時(隔週土曜日午後)		
回 数	全4回		
対象者	小学生以上で韓国語に興味のある方 約30名		
企画委員会の有無	無		
	開催期間: 月～ 月		
	委員: 人		
取り組むテーマ			
韓国語とハングルの違いやハングルの基礎を学び、短い文章や会話で受講生同志で韓国語を楽しむ。			
学習内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・ハングルの基礎学習として、二重母音と基本子音の文字・発音を習得し読み書きの基礎を固める。 ・ハングルパッチムの文字と発音ルールを理解し、正しく読み書きできるようにする。 ・ハングルで簡単な文章や会話を楽しむ。 			
課題			
どの年代層に焦点をあてた講座内容にするか、募集する受講対象者の年代幅の設定。			

PTA活動研修 担当者会議 調査票

		館名	麻生市民館
		担当者名	田中(予定)
令和7年度事業計画			
成人委員会⇒新PTA役員/委員、区P新役員		広報委員会⇒新PTA役員/委員、区P新役員	
期 間	令和7年5月13日(火)～令和7年5月13日(火)	期 間	令和7年5月20日(火)～令和7年5月20日(火)
回 数	全1回	回 数	全1回
主な講師	河野一美氏 (メディスタくらしの窓新聞社)	主な講師	井上俊夫氏 (地域教育会議)
参加者数 (延人数)	人	参加者数 (延人数)	人
学年委員会⇒新PTA役員/委員、区P新役員		は	
期 間	令和7年5月27日(火)～令和7年5月27日(火)	期 間	令和7年6月3日(火)～令和7年6月3日(火)
回 数	全1回	回 数	全1回
主な講師	三至とくす 氏 (生涯学習コーディネーター)	主な講師	黒野邦子氏 (麻生警察署)
参加者数 (延人数)	人	参加者数 (延人数)	人
<p>令和7年度のPTA活動研修実施にあたって 書面等にて実 ・参加対象者を〇〇委員会に制限せず、新規にPTA委員/役員になられた方及び区P役員と 施した場合その する。 手法実施 ・PTA家庭教育学級説明会を開催する予定の5/27は、対象者を上記対象者にPTA家庭教育 学級を担当する人を加えて募集する。</p>			
PTA家庭教育学級講師派遣再開に当たっての課題			
なし			
PTA家庭教育学級説明会:5月27日 10時～12時 麻生市民館にて			
担当者会議で取り上げてほしい事柄・問題点			
特になし			

令和7年度「学習情報提供・学習相談事業」担当者会議調査票

館名	麻生市民館
会議出席者	田中
担当者名	照井

令和6年度実施結果	
事業名(テーマ)	生涯学習相談コーナー
期 間	令和6年4月10日～令和7年3月12日
時間帯	午前10時～12時または午後1時～午後3時
回 数	33回
対象者・参加者数	
企画委員会の有無	無
	開催期間: 月～ 月
	委員: 人
工夫や苦勞した点 ・「生涯学習相談コーナー」→「まなびカフェ」に名前を変えて市民への周知を図ったが、相談に来られる方はさほど増えなかった。 ・通年事業で実施しているコミュニティ交流事業(ひとのわPJ)を積極的に紹介し、何かをやりたい何かを学びたい方たちをタイムリーに紹介できた。	
評価・反省 ・そもそも生涯学習相談コーナーやまなびカフェが何をやっているかわからない市民が多い。(相談コーナーを開設している場を横目で気にしつつ通り過ぎる方が多い) ・相談コーナーは月2～3回(水曜日)しか開設していないので、開設していない時間帯で相談に来られる方や電話問合せへの対応を工夫する必要がある。(現状は、受付やその時いる振興係職員がサークル紹介カードを参照して対応)	
課 題 ・学習相談コーナー開設の周知 ・学習相談員(ボランティア)が当番制で学習相談コーナーに対応してもらっているが、ボランティア人数が減少傾向にある。 ・学習相談員のグループ化(一つのボランティアグループとして、相談コーナーの運営を任せたい)	

令和7年度事業計画		担当者名	田中
事業名(テーマ)	「まなびカフェ」～あなたの”やりたい”を探してみませんか?～		
期 間	令和7年4月9日～令和8年3月18日		
時間帯	午前10時～12時または午後1時～午後3時		
回 数	24回		
対象者			
企画委員会の有無	無		
	開催期間: 月～ 月		
	委員: 人		
取り組むテーマ ・「一緒にサークル探してみませんか」(生涯学習相談コーナー)の周知、アピール ・ひとのわPJとの連携 ・学習相談ボランティアの主体的な運営			
学習内容 ・生涯学習に関する情報提供、学習相談スペースの設置、運営 ・学習相談ボランティアの設置と毎月末にボランティアメンバーミーティングの実施 ・麻生市民館登録のサークル/団体活動紹介カードの更新→検索サイトデータ更新			
課題 ・学習相談ボランティアのグループ化(学習相談員の主体的運営の実現) ・サークル/団体の連絡先個人情報取扱い			

令和7年度「地域コミュニティ交流・学習」事業調査票

	館名	麻生市民館
	会議出席者	松本
令和6年度実施結果 （地域コミュニティ交流・学習）	担当者名	松本
事業名(テーマ)	ひとのわプロジェクト	
期 間	年度中	
時間帯	提案者による	
回 数		
対象者・参加者数		
企画委員会の有無	無	
	開催期間: 月～ 月、回数: 回	
	委員: 人	
保育の有無	無	
工夫や苦勞した点		
<p>より多くの市民に提案してもらえるように、たくさんの方に積極的に声をかけ、得意なことをきいて回りました。その甲斐あって3、4人に1人程度が企画案をくれ、実施に至りました。提案実施時は積極的に来館者に声をかけ、参加しやすい雰囲気を作りました。参加者の中から次の提案者が生まれることも多く、連鎖的に次の企画の話で盛り上がる一幕も度々ありました。</p> <p>誰も取り残されないコミュニケーション空間を目指し、提案者と共に目配りに気を遣いました。</p>		
評価・反省		
<p>何か発信をしたくて市民館を訪れた方は、殆どの方が提案をし、事業実施に至りました。悪天候であっても2人、通常は20人を超える参加者がいるため、提案者も充実感ややりがいを感じ、再度提案に至ることもありました。</p> <p>事業実施に自身のない方もトライアルの場なので、失敗しても大丈夫という恐る恐る提案して見て終了後、大きな喜びや達成感を得られ、次の提案につながったり、他の方に紹介している姿があり、いい人材発掘と育成のサイクルが生まれています。</p> <p>また参加者の中に町会長や高齢者カフェ等の方があると、提案者に声をかけ、自分の団体にも来てくれないかと交渉を始めるなど、人と人につながり、地域デビューが生まれるなどもありました。</p>		
課 題		
<p>提案が多くなり、開催日程が重複すると、椅子等の物品が不足することがある。(日程が重なって同時開催となること自体は、提案者同士が繋がれるきっかけになるので、刺激も受けられ良い傾向である)</p>		

令和7年度事業計画	担当者名	
事業名(テーマ)	ひとのわプロジェクト	
期 間	年度中	
時間帯	時～ 時	
回 数	回	
対象者・定員	人	
企画委員会の有無	有 無	
	開催期間: 月～ 月 回数: 回程度を予定	
	募集人数: 人	
保育の有無	有 無	
取り組むテーマ		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の得意なことで市民同士がコミュニケーションを図れる場の創設 ・地域人材の発掘・育成・地域デビューの支援 		
学習内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・得意なことをコミュニケーションツールとして市民自身が事業化し、対話ができる居場所づくりをする ・企画立案、事業実施に至るまでの一連の流れを確認しながら実施する ・地域デビューを果たし、地域と積極的につながる 		
課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の得意なことをコミュニケーションツールとして事業化し、対話ができる居場所づくり ・市民の中の小さなタネを実施に至るまで育てていく相談支援を係全員で対応できるようにする ・地域デビューを果たしたときのその後の自立までの調整 		

複数回実施した館はシートをコピーして追加・作成し、入力をお願い致します。

令和7年度「現代的課題学習事業」事業調査票

		館名	
		会議出席者	
令和6年度実施結果 （現代的課題学習事業）		担当者名	
事業名(テーマ)			
期 間			
時間帯			
回 数			
対象者・参加者数			
企画委員会の有無	無		
	開催期間: 月～ 月、回数: 回		
	委員: 人		
保育の有無	無		
工夫や苦勞した点			
課 題			
令和7年度事業計画		担当者名	田中
事業名(テーマ)	人生100年時代を見据えたライフプランを考える		
期 間	令和7年6月15日～7月11日		
時間帯	6/15:午前、7/4:夜間、7/11:午後 ←各回により時間帯を設定(2時間)		
回 数	3回		
対象者・定員	各回100人		
企画委員会の有無	無		
	開催期間: 月～ 月 回数: 回程度を予定		
	募集人数: 人		
保育の有無	有 無		
取り組むテーマ			
<p>人生100年時代を生き抜くために必要な備えは何か。各世代別で、これから直面する人生の節目やイベントを具体的に想定し、今考えるべき備え(貯蓄、投資、借入)は何かを学び、100年時代を豊かに生き抜くための視点からライフプランを考えるきっかけを提供する。</p>			
学習内容			
<p>人生100年時代のライフプランを、世代別に3つのテーマに分け、これからの人生で直面する様々なイベントに対する備え(積立、運用、調達)を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの資産形成について(推奨する世代30～40代) ・介護と相続について(推奨する世代40～60代) ・終活について(推奨する世代60代～) 			
課題			
若い世代の参加			

複数回実施した館はシートをコピーして追加・作成し、入力をお願い致します。

令和7年度「シニアの社会参加支援事業」担当者会議調査票


		館名	岡上分館
		会議出席者	村木
		担当者名	石川
令和6年度実施結果			
事業名(テーマ)	ウクレレを弾こう		
期 間	令和6年9月4日から10月2日まで		
時間帯	10時から12時まで		
回 数	5回		
対象者・参加者数	関心のある方・15名		
企画委員会の有無	☐		
	開催期間: 月～ 月		
	委員: 人		
工夫や苦勞した点			
令和4年度に実施した「はじめてのウクレレ」は、申し込み開始から2日で定員に達してしまったため、今回は抽選にするかを考えたが、高齢者対象のため電話のみ先着による申込とした。			
評価・反省			
上記対応としたが、やはり申込者が多数で申込開始30分で定員に達してしまった。電話が繋がらない状態となり、苦情があった。			
課 題			
講座の時だけでなく持続してウクレレを楽しんでもらいたいとの企画意図でありサークルも発足してはいるが、長続きする方が少なくなってしまった。			

令和7年度事業計画		担当者名	村木
事業名(テーマ)	絵本の読み聞かせボランティア講座		
期 間	令和8年1月～3月頃(未定)		
時間帯	10時から12時まで		
回 数	6～8回		
対象者	関心のある方 20名		
企画委員会の有無	有 ☐		
	開催期間: 月～ 月		
	委員: 人		
取り組むテーマ			
読み聞かせボランティア活動について基礎的な知識・技術を学び実際の活動を体験することにより、同活動への理解と関心を高めるとともに講座を通じて仲間づくりを推進し、修了後に同活動を通じた社会参加、多世代交流やより一層の仲間づくりを推進する。 また、現在不足している同活動の人材発掘についても併せて推進する。			
学習内容			
①読み聞かせボランティア活動について(目的・対象・活動状況・演者側のメリット等)			
②活動体験談・見学			
③読み聞かせ講義と演習			
④発表会・意見交換会			
課題			
講座修了者の受け皿の確保			

令和7年度 家庭・地域教育学級 担当者会議 調査票①
 令和6年度実施結果

館名 岡上分館

出席者 大島

令和6年度 実施結果		担当者名	大島
事業名	思春期と向き合う保護者のためのガイド		
目的（テーマ）	思春期の子どもとのコミュニケーションを学び信頼関係を築く		
回数	5回		
対象	小学生・中学生・高校生の保護者		
定員	20人		
申込者数	20人 実際の参加者18人		
学習内容	① 思春期の子と、どう向き合うか ② 保護者のためのスマホ・SNS安全教室 ③ 思春期の子どもと片づけ ④ イマドキ、コレカラノ性教育 ⑤ 心の扉を開く聞き方・伝え方		
工夫した点・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の就業率は高く、平日開催だと受講者が集まらないため、全て日曜開催にした。 ・母親対象とはせず、父親参加も意識し、講師5人のうち2人は男性に依頼した。夫婦参加も2組、男性のみで参加された方もいた。 ・講座の様子を動画で紹介しています（1分16秒）→  （課題）連続講座が敬遠されがちである 		
担当者会議で取り上げてほしい事項			

令和7年度 家庭・地域教育学級 担当者会議 調査票②
令和7年度事業実施予定

館 名 岡上分館

出席者 大島

令和7年度 実施予定事業		担当者名	大島
事業名	思春期と向き合う保護者のためのガイド2		
目的（テーマ）	思春期の子どもを理解し世代間ギャップを埋め信頼関係を築く		
回数	連続6回		
対象	小学校高学年・中学生・高校生の保護者		
定員	20人		
申込者数			
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 思春期の子の片づけを考える（公開講座 この回のみ定員 30人） ② 容姿コンプレックス、陰キャ陽キャ問題を考える ③ SNS・ネットゲーム利用のリアルを知る ④ 受験期をどうのりこえる？ ⑤ 思春期の子に「生きる力」を伝えるには ⑥ 思春期だからこそ、パートナーと協力体制を築く 		
工夫した点・課題等	連続講座が敬遠されがちである。最初に公開講座をし、試しに受講していただき、その後の連続講座への申込につなげる。		
担当者会議で取り上げてほしい事項	イベントアプリの効果について		

令和7年度「市民エンパワーメント研修」担当者会議調査票

	館名	岡上分館
	会議出席者	土方
	担当者名	土方
令和6年度実施結果		
事業名(テーマ)	迫りくる災害に備える！リアル防災講座	
期 間	6月30日(日)～7月28日(日)	
時間帯	10:00～12:00(7月20日のみ18:00～20:30)	
回 数	6回	
対象者・参加者数	小・中学生と保護者10組20名	
企画委員会の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	開催期間: 月～ 月	
	委員: 人	
保育の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
工夫や苦勞した点		
<p>親子参加の連続講座ということで参加者が集まるか心配していたが、地元の方を含む8組の応募があり、出席率も高かった。講義は、低学年の子どもたちは飽きてしまう姿も見られたので、途中からは実験やワークを多く取り入れたり、最終回は大人向け講義・話し合いと、子どもの作業と分かれる時間も設けて、大人・子ども共に充実した時間を過ごせるように工夫した。連続講座のため、子どもたち同士も自然と仲良くなり、最終回のパネル制作では、上手く役割分担をして作業を終えることができた。映像については、実際の地震や津波の様子を怖がる子どもがいるかもしれないという配慮は、十分に行った上で上映した。</p>		
評価・反省		
<p>秋に開催した大人向けの防災講座に、夏休み中に本講座での学びを自由研究でまとめた作品を持参して共有して発表してくれた親子がいた。(全体に声をかけていたが、土曜参観と重なる小学校が複数あり、1組のみ参加)その作品は、小学校での学年代表に選ばれ、全校生徒の前でも発表したとのこと。講座での学びを学校や地域で伝えるという、学びの循環を起こすことができた。</p>		
課 題		
<p>防災に関しては、難しい言葉や内容になってしまうことが多く、低学年の子たちは飽きてしまう様子が見られた。途中から軌道修正はしたが、子どもたちの集中力が切れない工夫が始めから必要だった。親子参加にすることで、家族で防災への備えにつなげることができた、という声は多く聞かれた。単発でなら参加したい(特にトンネル見学)という声も多かったが、実際に参加した方からは、連続講座だからこそ得られる学びが多かった、6回でもあつという間だったと言われた。</p>		

令和7年度事業計画	担当者名	土方
事業名(テーマ)	キミのチカラを生かしてみないか！	
期 間	7月5日(土)～7月26日(土)	
時間帯	主に18:00～20:00	
回 数	5回	
対象者	高校生・大学生・専門学校生	
企画委員会の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	開催期間: 月～ 月	
	委員: 人	
保育の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
取り組むテーマ		
<p>何かをやってみたいけど、まだ一歩を踏み出せていたい若者たちが、岡上分館で開催される子ども関連事業と関わり、様々な活動を行うことで、自分が本当にやりたいことを見つけて行動につなげることを目指す。</p>		
学習内容		
<p>仕事をしながら地域の活動に関わっている現役世代の大人からも話を聞き、学校を卒業してからも地域との関わりを持つことの大切さを学ぶ。実際にイベントや講座の運営に関わることで、自分自身の得意不得意を発見し、その中で自らの役割を探して行動につなげる。</p>		
課題		
<p>日頃から市民館・分館と接点の少ない若者たちに、いかにして参加してもらえるかが課題。</p>		

令和7年度「市民エンパワーメント研修」担当者会議調査票

		館名	岡上分館
		会議出席者	
令和6年度実施結果		担当者名	土方
事業名(テーマ)	防災×健康プロジェクト		
期 間	10月11日(金)~11月16日(土)		
時間帯	10:00~12:00(11月16日のみ10:00~12:00)		
回 数	3回		
対象者・参加者数	関心のある方 10名		
企画委員会の有無	有 (無)		
	開催期間: 月~ 月		
保育の有無	委員: 人		
	有 (無)		
工夫や苦勞した点			
<p>日頃から「健康」でいることが「防災」にもつながるというテーマが、伝わりにくい点もあったようだ。講義と実践を交えた講座は、参加者からは大変好評だったため、参加者数が伸び悩んだことは残念だった。</p>			
評価・反省			
<p>夏に開催した親子向け防災講座に参加した親子が、本講座の最終回にゲスト参加して、夏休み中にまとめた学びの成果を発表してくれた。回数の関係で本講座では取り上げなかった内容もあったので、補足となったり、学んだことを伝えることの大切さを、受講者にも実践で教えてくれたのは良かった。</p>			
課 題			
<p>3回目を「地域の防災訓練に参加」としたことが、面倒と思われてしまった面もあったようだ。ただ、はじめは3回目は参加しないと言っていた方も、前2回の受講で認識を改め、参加されたというケースもあった。実際に防災訓練に参加して、煙体験や起震車体験をした方々は「聞いていたのと実際に体験するのでは大違いだった」と口々におっしゃっていた。館に戻って感想を共有し合う時間も持てたので、講座に取り入れたことの意義はあったように思う。</p>			

令和7年度事業計画		担当者名	
事業名(テーマ)			
期 間			
時間帯			
回 数			
対象者			
企画委員会の有無	有 無		
	開催期間: 月~ 月		
保育の有無	委員: 人		
	有 無		
取り組むテーマ			
学習内容			
課題			

令和8年度「市民エンパワーメント研修」担当者会議調査票

		館名	岡上分館
		会議出席者	
令和7年度実施結果		担当者名	土方
事業名(テーマ)	キミのチカラを生かしてみないか！		
期 間	7月5日(土)～7月26日(土)		
時間帯	主に18:00～20:00		
回 数	5回		
対象者・参加者数	高校生・大学生・専門学校生 10名		
企画委員会の有無	有 (無)		
	開催期間: 月～ 月		
	委員: 人		
保育の有無	有 (無)		
工夫や苦労した点			
<p>普段、市民館をあまり利用しない世代に、どのように広報したら届くかと考え、市政だより・市民館だより・タウン紙・HPの他、麻生区大学・公学協働ネットワークの6大学にメールで情報を流してもらったり、区内の県立・私立高校3校にはポスターやカードサイズのチラシを持ち込む等した。その結果、色々な媒体を通しての参加につながった。また、夜のこ文でチラシを手渡ししたことから参加に至るケースもあった。ただ、部活や学校の都合で全回は参加できない学生も複数いたため、講座の前後には全員に対し、前回の報告と次の流れをまとめてメールで知らせておいた。そのため、講座の運営はスムーズに行うことができた。</p>			
評価・反省			
<p>知らない学生同士でも(だからこそ?)自分自身をさらけ出し、本音を話す学生が多かったように思う。実際にボランティア活動をする際には積極的に行動する学生が多く、この講座で何かを得ようとする姿勢が大いに見られた。</p>			
課 題			
<p>講座を通し、自分の向き・不向き・興味関心分野に気づいた学生が多かったようだ。そして、もう少し何かやってみたい、という気持ちの学生も複数いたので、ラインのオープンチャット機能を使ってつながり、今後も情報提供していくことにした。講座の期間中も、ポッチャ倶楽部の活動や地域の夏祭りを紹介したところ、参加して市民の方々と交流する姿が見られたりと積極的に動く学生もいた。現在は、講座最終回に各自が出した企画の中から、一つでも実現するために同窓会で話し合うことを計画しており、今後も分館と関わり続けて、何かしらの行動につなげるためのサポートをしていく。</p>			
令和8年度事業計画		担当者名	
事業名(テーマ)			
期 間			
時間帯			
回 数			
対象者			
企画委員会の有無	有 無		
	開催期間: 月～ 月		
	委員: 人		
保育の有無	有 無		
取り組むテーマ			
学習内容			
課題			

令和7年度「地域コミュニティ交流・学習」事業調査票

		館名	岡上分館
		会議出席者	土方
令和6年度実施結果 (地域コミュニティ交流・学習)		担当者名	石川
事業名(テーマ)	ウクレレ持って大集合		
期 間	令和7年2月1日		
時間帯	10～12時・13時半～15時半		
回 数	1回		
対象者・参加者数	関心のある方・44名(延べ人数57名)		
企画委員会の有無	(無)		
	開催期間: 月～ 月、回数: 回		
保育の有無	(無)		
	委員: 人		
工夫や苦勞した点			
<p>シニアの社会参加支援事業で、ウクレレを通して仲間づくりをする事業を行ったところ応募が殺到し、参加できずに残念な思いをする方が多かった。また受講した方からも、楽しかったからまた参加したいという声が多くあった。そのため、この事業では枠を拡大し、初心者と経験者&中級以上に分けてワークショップを行い、同じようなレベルで気の合う仲間を見つけ、その後のサークルづくりにつなげることを目指した。</p>			
評価・反省			
<p>最初に時間をかけて自己紹介を行うことで、それぞれの人となりや思いを知ることができ、講座後に声を掛け合う姿が見られた。何組かは連絡先を教え合う等、今後の活動に発展しそうな気配があった。</p>			
課 題			
<p>講座後しばらくは、岡上分館を利用して練習を行うグループもあったが、いつの間にも利用が途絶えてしまった(他の場所を借りているのかもしれないが)。分館で行われている他の事業にも興味を持ってもらう等、継続的に分館の利用者になってもらう声かけや工夫が必要(発表の場を設けても、まだ人前で演奏できるレベルではないという方も多い)。</p>			

令和7年度事業計画		担当者名	土方
事業名(テーマ)	軽スポーツ&レクリエーションで健康&笑顔に		
期 間	令和7年7月5日～令和8年3月21日		
時間帯	14～16時		
回 数	9 回		
対象者・定員	20 人		
企画委員会の有無	(有) 無		
	開催期間: 7 月～ 11 月 回数: 3 回程度を予定		
保育の有無	募集人数: 10 人		
	有 (無)		
取り組むテーマ			
<p>市民が自らの健康だけでなく、他者の心身の健康にも気遣いながら過ごすことで、地域全体のウェルビーイング向上にもつなげる。一人ではできない軽スポーツやレクリエーションを行うことで人と交流し、出会いや気づきを得ることで、新たな活動につながるきっかけの場とする。</p>			
学習内容			
<p>ポッチャやピンポン、ディスクッターやラダーゲッター等、コミュニケーションを取りながらできる軽スポーツやボードゲーム等を、参加者同士交流しながら行う。</p>			
課題			
<p>多世代を巻き込むこと(近くのこ文に来ている子たちに声をかける)。継続して参加してもらうこと。</p>			

令和7年度「地域コミュニティ交流・学習」事業調査票

		館名	岡上分館
		会議出席者	土方
令和6年度実施結果（地域コミュニティ交流・学習）		担当者名	大島・土方
事業名(テーマ)	図書室プロジェクト		
期 間	令和6年11月22日～令和7年3月21日		
時間帯	主に10～12時		
回 数	7回		
対象者・参加者数	関心のある方・20名		
企画委員会の有無	(無)		
	開催期間: 月～ 月、回数: 回		
保育の有無	(無)		
	委員: 人		
工夫や苦勞した点			
<p>まずは「こんなことをやってみたい」という声を拾って形にするため、持ち込みの企画や声かけで反応のあった市民とは、事前打合せを念入りに行った。広報について、チラシを作ったことがないという方にも、ひな型に上書きして作成してもらい、なるべく自走に向かっていけるようにした。報告の作成もなるべく自分たちでしてもらい、PDCAのサイクルに持っていくよう努めた。</p>			
評価・反省			
<p>・場所が2階の一番奥の部屋で、ふらっと立ち寄りにくい。誘導の方法、事業自体の告知をさらに検討したい。 ・始めたばかりなので、提案者が少ない。来館者は目的を持って来ている方々がほとんどなので、この事業についての声かけに対して反応が薄い。</p>			
課 題			
<p>岡上分館の図書室というあまり知られていない場所で、何かをやってみたいという人に声を上げてもらうこと。また、やっている何かに反応して参加してもらうこと。</p>			

令和7年度事業計画		担当者名	大島
事業名(テーマ)	図書室プロジェクト		
期 間	令和7年5月30日～令和8年3月22日		
時間帯	14～16時		
回 数	回		
対象者・定員	各回 10 人程度		
企画委員会の有無	(有) 無		
	開催期間: 月～ 月 回数: 回程度を予定		
保育の有無	有 (無)		
	募集人数: 人		
取り組むテーマ			
<p>・「何かをやってみたい」市民が、一歩を踏み出し、他者とコミュニケーションを図りながらその活動を発展させることにつなげる ・図書室という普段あまり使われていない場所を有効活用し、認知度を上げる</p>			
学習内容			
<p>・事業立案・広報・実施・報告の流れを経験し、市民自主事業の提案や、さらなる活動の展開につなげる</p>			
課題			
<p>・この事業の枠で継続して活動を行っている方が、市民の「居場所」を提供しているという面もあるが、活動を自立させていくことへの理解と調整が難しいと感じている。</p>			

複数回実施した館はシートをコピーして追加・作成し、入力をお願い致します。

令和7年度「現代的課題学習事業」事業調査票

		館名	
		会議出席者	
令和6年度実施結果（現代的課題学習事業）		担当者名	
事業名（テーマ）	実施なし		
期 間			
時間帯			
回 数			
対象者・参加者数			
企画委員会の有無	無		
	開催期間： 月～ 月 、回数： 回		
	委員： 人		
保育の有無	無		
工夫や苦勞した点			
課 題			
令和7年度事業計画		担当者名	土方
事業名（テーマ）	リアルな体験から学ぶ 親子防災講座		
期 間	7月12日・19日（いずれも土曜日）		
時間帯	15～17時 ・ 18～20時		
回 数	2 回		
対象者・定員	小学生親子 12組		
企画委員会の有無	有（無）		
	開催期間： 月～ 月 回数： 回程度を予定		
	募集人数： 人		
保育の有無	有（無）		
取り組むテーマ			
<p>近年、災害への備えは意識されているが、まだ普及啓発は必要である。そのため、避難所に見立てた夜の岡上分館で実際に被災した状況を想定した避難の体験をすることで、いざという時に必要なことを知り、行動につなげられるようにする。</p>			
学習内容			
<p>いざという時に慌てないための、日頃の備えや心構えについてを事前学習で学ぶ。その上で、夜の岡上分館で被災体験を行い理解を深める。（防災食の実食・非常用トイレの使い方・避難所体験等）</p>			
課 題			
<ul style="list-style-type: none"> ・どこまでリアルに行くか（停電も想定するが、熱中症対策等を考慮し、参加者と相談・様子を見ながら判断する） ・学びを地域に還元させることについて 			

複数回実施した館はシートをコピーして追加・作成し、入力をお願い致します。

令和8年度「現代的課題学習事業」事業調査票

		館名	岡上分館
		会議出席者	
令和7年度実施結果（現代的課題学習事業）		担当者名	
事業名(テーマ)	リアルな体験から学ぶ 親子防災講座		
期 間	7月12日・19日(いずれも土曜日)		
時間帯	15～17時・18:00～20:00		
回 数	2回		
対象者・参加者数	小学生親子 10組・21名		
企画委員会の有無	(無)		
	開催期間: 月～ 月、回数: 回		
保育の有無	(無)		
	委員: 人		
工夫や苦勞した点			
<p>昨年度は連続6回の講座で開催したところ、興味はあるが都合をつけることが難しいという声もあったため、今年は単発での開催とした。また、さらにハードルを下げるため、事前学習会は1家族1名の参加でもOKとしたところ、子どもが参加しない家族が半数だった。体調不良や都合がつかないケースは仕方がないが、「勉強会」と捉えられてしまった面もあったようなので、この日も子どもが主体的に取り組める実験・体験を用意していることをもっとアピールして、できるだけ親子揃っての参加を促す必要があったと感じた。ただ、事前学習会に参加できなかった子どもたちには、体験の日にボランティアの学生たちが先生役となって教えたり、実験をやってみせたりして伝えることができたのは良かった。様々プログラムを盛り込んでいたため、学生と受講者との交流の機会をあまり設けることができなかつたことは、反省点である。広報は、町内会回覧板や岡上小学校PTAのオープンチャットで配信してもらおう等、岡上地域で重点的に行ったため、参加者は全員岡上地区在住者だった。地域の特性に合わせた出前講座の内容にできたり、災害時には自分たちで地域を守るという意識につながれたことは良かった。</p>			
課 題			
令和7年度事業計画		担当者名	土方
事業名(テーマ)			
期 間			
時間帯			
回 数			
対象者・定員			
企画委員会の有無	有 無		
	開催期間: 月～ 月 回数: 回程度を予定		
	募集人数: 人		
保育の有無	有 無		
取り組むテーマ			
学習内容			
課 題			

複数回実施した館はシートをコピーして追加・作成し、入力をお願い致します。

社会教育振興事業のPDCAについて（事務局と専門部会の連携・協働）

1 専門部会審議日程

項目	開催時期	調査審議事項
第1回	6月～7月	前年度の実績、成果と課題の報告 今年度の実施計画の確認
第2回	8月～9月	「調査・検討対象にしたいテーマ」の提案 中間点検 「改善シート案」の作成
第3回	12月	「改善シート」の作成と提案
第4回	2月	市民自主事業

2 改善提案シート（PDCA シート）

- ・専門的な視点からの発言、審議会での発言 ⇒ 改善提案に記録
- ・それを全体で調査・審議した結果 ⇒ 審議会コメントとして公式化

項目	内容
事業名	
審議日	
現状・課題	
改善提案 個人意見	こうしたらどう？という改善案や意見 委員又は担当者の意見 合意しているとは限らない。
審議会コメント 会としての意見（合意）	会としてこの改善が望ましい。 広報強化は、会として早急な課題と考える。 参加者層の拡大は必要である。 アンケート結果が反映されているか、見える化を 図る必要がある。
期待される効果	
事務局所見	提案・コメントを受けての検討結果 受入れの可否を記入

3 専門部会の所掌事務（市社会教育委員会議規則第6条）

円滑な運営を図るため、「館における各種の事業の企画実施について調査審議すること。」

高津市民館の広報活動について～「市民館だより」を中心に

*調査日：令和7年8月13日

*対応者：高津市民館館長：檀徹、広報担当：竹本はるか

*調査者：岡倉進、角田季美枝（以上、麻生市民館専門部会）、相澤悟（麻生市民館館長）

1 広報活動の現状

○目的：

- ・運営理念「ふやす」に基づき、市民館の認知度向上と講座等への参加者増加を目指す。
- ・令和7年4月より広報活動を強化。

○主な取り組み（強化の内容）：

- ・施設パンフレット（利用案内）を新たに作成し1,000部配布。撒き切ったため増刷した。
- ・広報媒体は、ホームページ、インスタグラム、市民館だよりを中心とし、統一感のあるデザイン（キャラクター・色彩の統一）により、伝わりやすさの向上と、統一フォーマットによる作業効率化を図る。フォーマットは地元の株式会社ノクチ基地に依頼。
- ・広報担当が、ホームページ、インスタグラム、市民館だよりを担当している。

○市民館だよりの内容：

- ・主な内容は、講座の案内
- ・その他として、キャラクター名称募集、施設の休止情報、アクセス案内など。
- ・変更点は、カラー印刷でフォーマットの統一、基調とする色を採用したこと。キャラクターを作成し、広報のアイコンとしての利用を図る。
- ・休館日カレンダーは、スペース確保ため簡略表示とした。
- ・専門部会の委員から「明るく見易くなり良くなった」という意見がある。
- ・記事の見せ方は工夫している。なるべく手に取ってもらえるよう明るい内容のものがチラシを配架した時に見える位置にしたりしている。

○インスタグラム（新規）：

- ・必然的に若い層になるため、その層向けの木育行事とか親子向けの講座のお知らせの発信となる。
- ・フォロワー数は200人未満で、今後の拡大が課題

○館内掲示 発行主体別ではあるが、統一感なくチラシが配架されている。

2 広報活動の課題と今後の対応

○課題：

- ・市民館だよりの提出締切（発行月の前月 7 日）が早く、講師名など詳細情報の掲載が困難である。
- ・もう少し手を広げていきたいが、まだ市の引継ぎの範囲内にとどまっている。

○今後の対応：

- ・市民館だよりの配布・配置先は今までと同じではあるが今後は新たな所も考えていきたい
- ・利用者の声やアクセス数等振り返りによる改善策の検討
- ・商業施設の最上階に位置する強みを活かすことが、期待される。
例えば、シニアや子供達の猛暑対策など

以上

中原市民館の広報活動について～「市民館だより」を中心に

＊調査日：2025年8月19日

＊対応者：中原市民館館長：土戸（つちと）啓章、社会教育振興・自主事業担当：高木（たかき）悠子

＊調査者：岡倉進、角田季美枝（以上、麻生市民館専門部会）、相澤悟（麻生市民館館長）

1 いままでの「中原市民館だより」の印象

・社会教育になじみがあるので、単色のたよりにはなじみがある。落ち着いており、内容に集中しており、公式な文書というイメージ。その一方、同じトーンでメリハリがなく手にとりにくいという印象。

・いままで20年間業務を指定管理で担当していた北区の場合、3館一括の「北区文化センターだより」は当初、白黒で印刷機で印刷していた。利用者団体に協力いただいて、手にとってもらいやすいよう表紙に写真掲載するほか、イラストも描いてもらっていた。その後、カラーにしたことで、目にとまりやすくなった。写真も見やすくなった。また、外部の印刷業者に発注して印刷から折までやってもらった方が手間がかからず逆に安くなった。

2 「市民館だより」の4月以降の現状や課題

○目的

- ・川崎市要綱（教育文化会館・市民館・分館社会教育振興事業実施要項）にのっとった形で引き継ぐ。

○編集体制

- ・中原市民館の職員 7 人で編集を行っている。編集長はとくに決めていない。

- ・Canva というソフトを用いて WEB 上で共有している。

○発行部数・配布先

- ・8月号の発行部数 8,000 部弱。部数は、様子を見ながら調整している。

8月号は、6月号より若干減らした。

- ・イベントでも配布している。

- ・各部屋に置いているので、減りが早い。（館内での配架はチラシをよく取ってくれる）

○反響

- ・専門部会やサークル連絡会の会議ではほめていただいた。

- ・窓口でもいろいろ声が寄せられるが、そのなかには「カラーになっていろいろ入ってチカチカして見づらくなった」という声もあったので、色合いは気をつけたい。

- ・これまでも高層マンションに配架していたが、今までの広報紙だと他に並べている広報紙と比べ異質な印象だったらしく、やっとカラーになったのだねという声があった。

○内容・課題

- ・北区の場合、区報が月 3 回発刊だった。そこで講座の広報もできた。

それに対して、川崎では市政だよりもに掲載するのが難しく市民館だよりは隔月刊。いきおい募集案内が中心になってしまう。8月号までは特にお知らせが多くなってしまった。

- ・お知らせも大事であるが、「報告」も載せたらどうかと検討している。例えば、10月号には8月23日開催の中原E X P Oをやってどうだったという報告を掲載予定。「市政だより」2025年8月号の中原区版の「となりのなかはらびと」のような内容や、いままでやれてこなかった施設の紹介もできれば。読みたいなといってもらえるような市民館だよりになればと思っている。

- ・見やすさ、色味だけではなく、公的な社会教育の媒体なので「漢字」をはじめとして、ことばの使い方は、公共の発行物として表現するよう努めている。

- ・課題としては、カラーにしたが、色が多く統一感がとれていない。川崎市には「カラーユニバーサルデザイン・ガイドライン」もあるので、その遵守も考えながら、改善していければ。

- ・紙面のアクセントに使用している「パンジーのプードル」は、パンジーが「中原区の花」なので、クリエイター集団のノクチ基地にデザインしてもらった。今後はこれをキャラクターとして広めていきたい（パンジーをラベル化してメモ帳に貼ったものを、指定管理開始前に設けたギャラリーでの事業へ来場した方に配布）。

3 ほかの広報媒体との連携について

- ・ホームページ（HP）は組織として実態を問われる媒体で信用性にもかかわる。HP更新は随時（内容によって更新日を決めて）7人でそれぞれ更新している。

- ・インスタは自分で見に行かないと見るができないが、双方向のやりとりがしやすく、更新しやすいので、最新の情報を掲載。市民館だよりは2か月ごとの発行なのでそれを補完する意味もある。4月以降、あちらこちらのイベントやいろいろな団体の会議に参加したときに「インスタをしているので見てください」というと、見て関心のある方がまた拡散してくれている。現在、インスタのフォロワーは291。

- ・市民館だよりの紙媒体はなくせない。持ち帰ることができる、いつでも見ることができる、年齢層問わないという特徴がある。

- ・なかはらフューチャーデザインパートナーズには東急スポーツシステムも入っており、東急グループとの連携もしている。中原EXPOはA1のポスターを武蔵小杉の駅に貼ってもらったり、サイネージでも紹介してもらっている。

4 その他

Q 中原市民館は市民活動センターと同じフロアにあるが、今後の連携の予定などは？

A 3月までは同じフロアにありながらお互い干渉していなかったが、今後は施設の垣根を越えて利用者が行き来できるようになるように話し合いを進めている。市民活動センター主催の「ごえん楽市」はいままで

会場貸しだったが、今年は中原市民館として参加する予定だ。

Q 中原市民館は、タワマンの中にあり、子育て世代が多く入居している。武蔵小杉は町内会の解散が起きている中、タワマン住民と地域とが市民館を通じて繋がれるようにという思いがあるが、いかがか。

A 私たちは提案段階から、

- ・過去の区民アンケートで「子育てサービスを利用したことがない」の回答が5割近く

- ・出生数および市外からの転入者数が市7区で最も多い

- ・20～30代の転入者が多い、若い世代が気軽に立ち寄り、集いたくなる施設づくり

→慣れない土地での孤独感、育児に対する不安や悩みを抱えた子育て家庭を地域で支える仕組みづくり、キッズスペースの設置、ラウンジ等フリースペースの活用

等、様々な視点から現状把握と課題分析を進めてまいりました。

その中で、紙媒体の市民館だよりを発行するメリットは、先日お話しした「持ち帰ることができる、いつでもみることができる、年齢層を問わない、情報格差を生みにくい」など、多くのことが挙げられます。

一方で、未利用者層へのアプローチ手段やタイムリーな情報発信として、市民館だより以外の多様なチャンネル活用も実施しております。

例として、SNS（Instagram）を用いたネットワークの広がり、近隣施設のイベント開催時での事業チラシの配布、地域の活動団体を招いての

館内事業など、発信先や配布先により市民館の認知度向上と市民へ直接情報が届く仕掛けもすでに実施しております。

タワマン住民、子育て世代との繋がりと発したのは、私たちは振興事業や自主事業（地域連携事業）を問わず、市民館が単なる貸館施設ではなく、地域住民や活動団体、事業者、地域自治組織といった地域で活動する様々な主体をつなぐ拠点になるような施設を目指しています。

住民同士の交流促進、防犯や防災、地域活動への参加など、身近にこんな取組をしている施設があったのだと知る機会提供として、市民館だよりとその他の広報手段を対象に合わせて活用してまいります。

以上

麻生市民館だよりの今後について

2025.08.27 角田季美枝

1 いままで

* 「麻生文化センターだより」(No.1～No.50、No.51～100)の中に市民館だより、図書館だより

- ・「足を運んでもらいたい」との熱・・・講座案内以上の多様な参加の呼びかけ、市民館での事業の特徴もふまえた呼びかけ
- ・読みもの・・・事業や講座、研究大会などの報告、受講生の声
- ・館長・職員(管理も)の意欲、業務の紹介

* 「麻生市民館だより」No.101～150、No.151～184、No.185～

- ・図書館、岡上分館の情報も組み込み
- ・全館共通「新しい風」(2003年4月1日号)～成人学校廃止、市民自主学級事業の実施
- ・区役所補助執行後、講座の案内のみに変化していったという印象

2 高津市民館、中原市民館の「市民館だより」に関するヒアリング報告(※別紙参照)

- ・ヒアリング報告
- ・調査者の雑感
(参考)市民館だよりを検討した調査研究
- ・『令和4・5年度宮前市民館専門部会活動報告書』

3 今後について

- ・麻生市民館、麻生市民館岡上分館、麻生図書館、麻生図書館柿生分館で構成～ページ数、発行頻度とタイミング
- ・SNS時代の多様な媒体の中の「市民館だより」の位置づけ～ウェブサイトやインスタなど電子媒体とのすみわけ
- ・指定管理者制度導入の意義、課題など(※指定管理者に関する「市民館だより」への紹介については別紙参照)
- ・区役所に「引き上げる」職員の業務の紹介
- ・「利用者」(社会教育振興事業や貸館事業の講座参加者、サークル団体、社会教育の登録団体以外も)を増やす案内や報告、「利用者」の声の紹介
- ・利用者懇談会、専門部会の案内・報告
- ・今後の新百合ヶ丘のまちづくり政策、立地最適化計画、公共施設再編・複合化も見据える? など

4 (参考)他自治体の公民館だより～内容、ページ数、利用者の編集への参加など

- ・国立市公民館「くにたち公民館だより」
<https://www.city.kunitachi.tokyo.jp/soshiki/Dept08/Div05/dayori5/index.html>
 - ・相模原市大野南公民館「館報みなみ」
<http://www.sagamihara-kouminkan.jp/onominami-k/kanpou/honshi/255.pdf>
- など

以上

麻生市民館館長、麻生市民館専門部会のみなさま

麻生市民館だよりへの指定管理者に関する情報掲載についての提案

2025.08.15 角田季美枝

以前から提案しておりますが、市民館だよりに指定管理者について掲載することを希望しますので、以下、具体的に提案します。今度の定例会で検討いただけないでしょうか。

1 通常の講座枠の下のはみだし情報でいいので、10月号と12月号に以下の内容を掲載できないでしょうか？

●10月号・・・麻生市民館、麻生市民館岡上分館、麻生図書館、麻生図書館柿生分館の指定管理者が9月議会で承認され、決定します。このたよりの編集段階は9月議会決定に間に合いませんので、川崎市のウェブサイトでどの事業者が指定管理者になるのか、他の指定管理者との評価結果も含めて公開されますので、ご関心のある方はぜひ検索してみてください。

(※この号では市民説明会の開催についての掲示を行う予定)

(また、この号に「専門部会」についての情報提供もできないかと思いますが～12月定例会の日程案内、および傍聴についてのお知らせ～、検討いただけるとうれしいです)

●12月号・・・指定管理者制度は、結局、何を目的としているのでしょうか。改正された川崎市市民館条例では、(1)市民の平等な利用を確保する、(2)市民館の効用を最大限に発揮するとともに経費の縮減を図る、(3)市民館の管理を安定して行う能力をもつ——の3点を指定管理者に期待しています。

2 2月号以降

●2月号・・・12月に開催される市民説明会の報告、参加者の感想などを大きめに掲載してはどうでしょうか。

●4月号・・・指定管理者が「指定管理になりました」という告知を掲載し、何が変わるのかを紹介するのではないかと(利用料金の支払い方法、利用者懇談会の開催など)と思いますが、指定管理への期待や課題についての専門部会の検討内容も記載できないでしょうか。

以上

令和 7 年度麻生市民館専門部会

改善提案シート

項目	内容
事業名	講座実施結果（アンケート等）の活用
審議日	令和 7 年 8 月 27 日
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座終了後にアンケート調査を行っている。 ・ その結果が、審議会に報告されていない。 ・ 審議会は、現場の声が、事業にどの様に活かされているか、把握できていない。
改善提案 委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者・受講者のアンケートを審議会として把握する。 ・ 担当者も含め、現場の声（活動報告会など）を聞いて、次年度の事業を考えるうえで、参考になる。 ・ 事業の成果、アンケートの結果、参加者の声を活動報告として、発信する。
審議会コメント 会のマトメ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者アンケートや担当者の声は、事業改善や次年度計画につながる重要な情報である。 ・ 審議会には、特に課題が見られる、新たな情報等に関して、報告することが望ましい。 ・ 審議会は、その情報を踏まえて、改善提言を検討する。 ・ 参加者の声を発信することは、参加者の増加、講座の質の向上につながると方法である。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場の声を反映した、実効性のある改善策が検討できる。 ・ 参加者の満足度が高まり、参加者の増加につながる。
事務局所見 後日記入（	

現在位置 [トップ](#) > [相談・手続き・採用・募集](#) > [教育委員会の入札情報](#) > [社会教育関連施設](#) > [令和7年度契約](#) >

川崎市麻生市民館、川崎市麻生市民館岡上分館、川崎市立麻生図書館及び川崎市立麻生図書館柿生分館の指定管理予定者の選定結果について

川崎市麻生市民館、川崎市麻生市民館岡上分館、川崎市立麻生図書館及び川崎市立麻生図書館柿生分館の指定管理予定者の選定結果について

公開日：2025年8月25日


更新日：2025年8月25日

川崎市麻生市民館、川崎市麻生市民館岡上分館、川崎市立麻生図書館及び川崎市立麻生図書館柿生分館の指定管理予定者の選定結果について

川崎市麻生市民館、川崎市麻生市民館岡上分館、川崎市立麻生図書館及び川崎市立麻生図書館柿生分館の指定管理予定者の選定結果をお知らせします。

指定期間 令和8年4月1日～令和13年3月31日

川崎市麻生市民館、川崎市麻生市民館岡上分館、川崎市立麻生図書館及び川崎市立麻生図書館柿生分館の選定結果について

 [川崎市麻生市民館、川崎市麻生市民館岡上分館、川崎市立麻生図書館及び川崎市立麻生図書館柿生分館の選定結果 \(PDF, 272.00KB\)](#) [別ウィンドウで開く](#)

お問い合わせ先

川崎市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課

住所: 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話: 044-200-1806

ファクス: 044-200-3679

メールアドレス: 88syogai@city.kawasaki.jp

コンテンツ番号179073

同じ分類から探す

▶ [令和7年度契約](#) (この記事の分類)

- ▶ [川崎市麻生市民館、川崎市麻生市民館岡上分館、川崎市立麻生図書館及び川崎市立麻生図書館柿生分館の指定管理予定者の選定結果について](#)
- ▶ [川崎市多摩市民館の選定結果について](#)
- ▶ [川崎市青少年科学館収蔵庫燻蒸業務委託の一般競争入札について](#)
- ▶ [【入札情報】令和7年度 川崎市立西中原中学校地域部活動推進事業支援業務委託](#)
- ▶ [【入札情報】令和7年度 川崎市立中学校地域部活動推進事業支援業務委託について](#)
- ▶ [オンラインデータベース提供業務に関する一般競争入札の落札結果について](#)

川崎市麻生市民館、川崎市麻生市民館岡上分館、川崎市立麻生図書館 及び川崎市立麻生図書館柿生分館の指定管理予定者の選定結果について

1 概要

(1) 施設概要

ア 川崎市麻生市民館

(ア) 所在地

川崎市麻生区万福寺1丁目5番2号

(イ) 事業内容

- a 幼児、青少年及び成人に関する学級及び講座を開設すること。
- b 討論会、講演会、講習会、実習会、展示会等を開催すること。
- c 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。
- d 体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。
- e 文化活動の奨励を行うこと。
- f 視聴覚器材器具の貸出しを行うこと。
- g 社会教育関係団体の育成を図ること。
- h 施設及び設備を市民の集会その他の公共的利用に供すること。

イ 川崎市麻生市民館岡上分館

(ア) 所在地

川崎市麻生区岡上3丁目15番5号

(イ) 事業内容

(1) ア(イ)に同じ

ウ 川崎市立麻生図書館

(ア) 所在地

川崎市麻生区万福寺1丁目5番2号

(イ) 事業内容

- a 図書、記録、郷土資料、地方行政資料その他必要な資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「図書館資料」という。）を収集し、分類し、配列し、及びその目録を整備すること。
- b 図書館資料を市民の利用に供し、及びその利用のための相談に応ずること。
- c 学校図書館、他の地方公共団体の公立図書館等と緊密に連絡し、及び協力し、並びに他の地方公共団体の公立図書館等と図書館資料の相互貸借を行うこと。
- d 閲覧所、配本所及び自動車文庫を運営すること。
- e 読書会、研究会、鑑賞会、資料展示会、講演会等を主催し、及びそれらの開催を奨励すること。
- f 図書館奉仕のための資料を刊行し、及び配布すること。

エ 川崎市立麻生図書館柿生分館

(ア) 所在地

川崎市麻生区片平3丁目3番1号

(イ) 事業内容

(1) ウ(イ)に同じ

(2) 指定期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

(3) 指定管理予定者の概要

団体名 あさお・未来共創パートナーズ

<代表者>

ア 名称

アクティオ株式会社

代表取締役 淡野 文孝

イ 住所

東京都目黒区東山一丁目5番4号KDX中目黒ビル6階

ウ 目的

- (ア) 指定管理者制度に基づく公の施設の管理受託
- (イ) 美術館・博物館等文化施設、公共施設、社会福祉施設等の経営及び管理受託並びに案内、受付、誘導等運営に関する業務
- (ウ) 商業施設、レジャー施設等の経営及び管理受託並びに案内、受付、誘導等運営に関する業務
- (エ) 博覧会、展覧会、展示会、見本市、各種会議、行催事、イベント等の調査、企画立案、実施運営、事務局に関する業務
- (オ) 都市計画、都市再開発、緑化工事の設計監理の受託業務 ほか

<構成員1>

ア 名称

公益財団法人川崎市生涯学習財団

理事長 石井 宏之

イ 住所

川崎市中原区今井南町28番41号

ウ 目的

川崎市における豊かな生涯学習社会の実現を図るため、教育、学術及び文化等に関する各種の事業を行うとともに、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、活力に満ちた市民自治社会の構築に寄与することを目的とする。

<構成員2>

ア 名称

株式会社サイオー

代表取締役 橋本 一憲

イ 住所

埼玉県さいたま市浦和区岸町七丁目12番4号

ウ 目的

- (ア) 建築物環境衛生総合管理業務
- (イ) マンション管理業務
- (ウ) 広域ビル群管理業務
- (エ) 電気工事業
- (オ) 建設業 ほか

<構成員 3>

ア 名称

株式会社図書館流通センター
代表取締役 谷一 文子

イ 住所

東京都文京区大塚三丁目1番1号

ウ 目的

- (ア) 書籍及び雑誌の販売
- (イ) 書籍の情報収集及び情報検索・受発注用機械可読データの作成及び販売
- (ウ) ビデオ、CD、DVD等の視聴覚資料の販売
- (エ) 書籍の分類・整理並びに加工
- (オ) 一般労働者派遣事業 ほか

*指定管理者の決定は、令和7年第3回市議会定例会（9月議会）における指定議案可決後となります。

2 選定の経緯

- 令和7年4月 募集開始
- 令和7年6月 募集締切
- 令和7年7月 川崎市教育委員会事務局民間活用事業者選定評価委員会
- 令和7年7月 指定管理予定者を決定

3 応募状況

現地見学会・説明会参加 { 川崎市麻生市民館、川崎市立麻生図書館 22団体
川崎市麻生市民館岡上分館 19団体
川崎市立麻生図書館柿生分館 17団体

応募団体 2団体

団体名	代表者	構成員
あさお・未来共創 パートナーズ	アクティオ株式会社	公益財団法人川崎市生涯学習財団
		株式会社サイオー
		株式会社図書館流通センター
あさおのわ	株式会社JTB コミュニケーションデザイン	株式会社小学館集英社プロダクション
		野村不動産パートナーズ株式会社
		株式会社ヴィアックス
		株式会社有隣堂

4 川崎市教育委員会事務局民間活用事業者選定評価委員会委員

- 荻野 亮吾（日本女子大学人間社会学部准教授）
- 齋藤 博（東洋大学福祉社会デザイン学部准教授）
- 柴田 彩千子（東京学芸大学総合教育科学系教授）
- 志村 恵美子（公認会計士、税理士）
- 野口 武悟（専修大学文学部教授）

5 選定理由

仕様書に定める管理の基準を満たし、指定管理業務を適切に実施する提案がなされ、収支計画や人員配置・勤務体制等が妥当と判断された。また、社会教育振興事業や読書支援事業に対する考え方や取組内容、地域への理解と連携による取組、市民館・図書館運営に関する考え方等について、優れた提案がなされたことを評価し、当該団体を選定した。

6 審査結果（※基準点450点以上）

選定基準	配点	あさお・未来共創 パートナーズ (指定管理予定者)	あさおのわ
①事業目的の達成とサービス向上への取組	375点	289点	286点
②事業経営計画と管理経費縮減等への取組	200点	144点	133点
③事業の安定性・継続性の確保への取組	75点	55点	52点
④応募団体自身についての評価	50点	46点	34点
⑤応募団体の取組	50点	42点	32点
合計	750点	576点	537点

7 指定管理予定者として選定された団体の主な提案内容

- (1) これまで積み上げてきた地域を作る学びや活動、文化を継承し、市民と一緒に充実・発展
- (2) 岡上分館における子育て支援啓発事業「子育てひろば」事業の新規実施
- (3) 乳幼児、小学生、中高生と、世代別の読書サービスの実施
- (4) 「まちに飛び出す図書館」として、区民まつり等のイベントに「ラッピングトラック」を運行
- (5) 独自の施設ホームページ（PC版、スマートフォン版）、SNS（Instagram、LINE）、施設パンフレット等の作成
- (6) 麻生図書館の開館時間の延長

8 提案額

1,813,399千円（5年間の合計額）

(生涯学習部生涯学習推進課事業調整担当)

電話044-200-1806